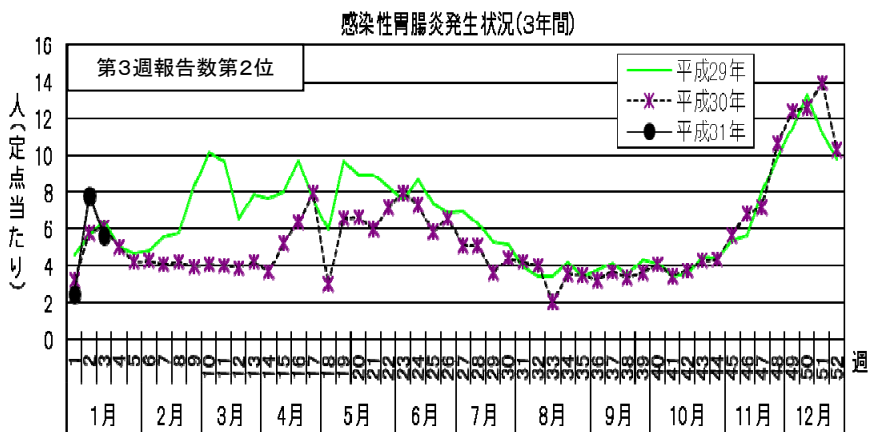
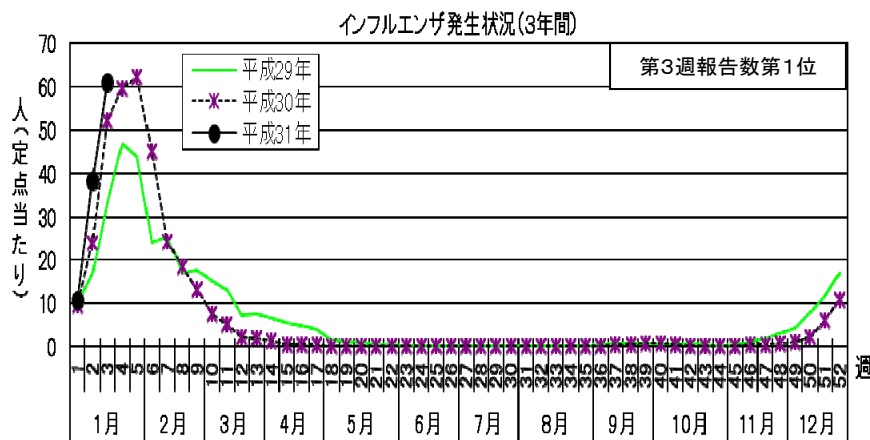


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成31年1月14日（月）～平成31年1月20日（日）〔平成31年第3週〕の感染症発生状況

第3週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は61.00人と前週（38.48人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.65人と前週（7.78人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.27人と前週（2.24人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



インフルエンザの勢い増す！～閉鎖学級数も急増～

川崎市では、インフルエンザの患者報告数が、年明けから2週続けて増加しています。平成31年第3週（1月14日～1月20日）の定点当たり報告数は61.00人で、現在の調査方法となった平成11年以降、2番目に多い報告数となりました。

平成31年第2週の警報発令時は、15歳未満の小児が全体の約半数を占めていましたが、学校等の開始とともに6割を超えました。また、市内における閉鎖学級数も1月中旬以降急激に増加しています。

学校等の集団生活の場では、感染予防・拡大防止の徹底が特に重要です。

